

東部ネパール・ジャルタルの森再生のためのツルヒヨドリ除去に関する参加型アクションリサーチ

活動地域  ネパール

ひろげる助成

3年目

調査研究

外来種除去面積 **13 ha**

コンポスト生産量 **11.5 t**

今年度計画の達成度 **90 %**

全体計画の達成度 **90 %**



プロジェクト・リサーチの現地作業風景

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

ツルヒヨドリの繁茂の勢いが非常に強く、除去してもまもなく再生してくる。その除去にあたっては、非常に多くの労力と時間が必要だった。

■ 工夫した点

定期的にツルヒヨドリの除去を行うことで、除去後の森林での繁茂を抑制することができた。また、この活動が成功モデルであることを地域住民に対して広報し啓発を行った。

課題

森林植生回復のためのコミュニティが活用できる外来侵略種（ツルヒヨドリ）除去の技術の開発・普及。

目標

ツルヒヨドリにより荒廃したジャルタルの森が元の植生を回復すること。

活動内容と成果

今年度も外来種の除去、天然更新苗の保護、除去後の外来種を使ったコンポストの生産活動を継続。プロジェクト地の植生の回復に貢献した。今期は13haの森林から外来種を除去し、3,000本の天然更新苗の生育のための保護を実施した。除去後の外来種は、11t以上のコンポスト生産に活用した。



外来種除去後のプロジェクト地

全助成期間の活動を振り返って

私たちの活動では、対象地の森林が直面する課題を解決することを目指した。ネパールの森林管理は従来型のもので、ツルヒヨドリのような外来種のような新たな課題に取り組むための、リソースやインセンティブが不足していた。このプロジェクトを通じて、外来種対策の除去・除去後跡地の植生回復保護・除去後外来種を活用したコンポスト生産・販売というモデルを構築することができた。



外来種除去作業の様子

Krishnamohan Smriti Road, Bagdol,
Lalitpur Metropolitan City-4, GPO Box: 12207, Nepal
E-mail: fa@forestaction.org
HP: <https://www.forestaction.org/>



今後の展望

このプロジェクトの成果を今後取りまとめ、この知見を活用しネパールの他の地域でも同様の活動を展開していく予定である。また、このプロジェクトの成果は関係者、機関とも共有していきたいと考えている。